

資料 1 開催要綱

「高齢者のユーザビリティに配慮した ICT 利活用環境に関する検討会」開催要綱（案）

1. 開催の目的

日本の将来人口は、2005 年以降の総人口は減少傾向となり、深刻な少子高齢化へ突入する。また、2007 年以降、団塊の世代（昭和 22 年から 24 年生まれ）が一斉に定年期を迎える「2007 年問題」などの問題も抱え、企業においては、労働力人口の減少や、高度な知識・技能を持った熟練技術者の退職による技術継承等の問題が顕在化してきており、高齢者の積極的な就労等を通じた社会参加の促進は喫緊の課題である。こうした状況に対して、高齢者が ICT をより一層利活用できるようになることは、在宅での就労、個人起業、ボランティア活動等が可能となるなど大きなメリットが期待されている。

一方で、高齢者のインターネット利用率は 32.6%（総務省「平成 17 年通信利用動向調査」、60 歳以上のインターネット利用率）であり、高齢になるほど利用率が減少しているのが現状である。高齢者にとって、インターネットを利用しない理由としては、「利用する必要がない」（31.8%）、「操作が難しい」（20.2%）（平成 17 年通信利用動向調査）が大きな割合を占めており、高齢者が使いやすい（ユーザビリティ）ICT 製品・サービス等の普及・促進を早急に行っていくことが必要である。

このような状況を踏まえ、携帯電話を対象とした高齢者のユーザビリティを向上させるために必要となる指針等の検討を行ない、高齢者のユーザビリティに配慮した ICT 利活用環境の実現に資することを目的として検討会を開催する。

2. 名称

この検討会は、「高齢者のユーザビリティに配慮した ICT 利活用環境に関する検討会」（以下「検討会」という。）と称する。

3. 検討事項

本検討会は、次の項目について、調査研究を行う。

- (1) 高齢者の ICT 利活用に関する調査
- (2) 高齢者におけるユーザビリティ上の課題の検討・抽出
- (3) 高齢者のユーザビリティを向上させるために必要となる指針等の検討
- (4) その他必要な事項 等

4. 検討会の組織・運営

- (1) 検討会は別紙に掲げる者をもって構成する。
- (2) 検討会には、座長及び座長代理を置く。
- (3) 座長は、検討会の構成員の互選により定めることとし、座長代理は、座長が指名する。
- (4) 座長代理は座長を補佐し、座長不在のときは、座長に代わって検討会を招集し、主

率する。

(5) 座長は、必要なときは、関係機関等の者を出席させることができる。

(6) その他、運営に必要な事項は、座長が定める。

5. 庶務

検討会の庶務は、関係者の協力を得ながら、株式会社三菱総合研究所が行う。

6. その他

平成18年3月を目途に報告書を取りまとめる。

検討会構成員

(敬称略)
(50音順)

常磐大学 人間科学部 助教授

いとう まさこ
伊東 昌子

老テク研究会 事務局長

こんどう のりこ
近藤 則子

松下電器産業株式会社 パナソニックデザイン社

AVCNアドバンスグループ インタラクションチーム

さい あきしげ
佐井 章重

情報通信ネットワーク産業協会

マルチメディアソリューション部 部長

しみず ひろかず
清水 博一

富士通株式会社 総合デザインセンター

ユーザー・エクスペリエンスデザイン部

デザインディレクター

たかもと やすあき
高本 康明

株式会社 NTT ドコモ プロダクト&サービス本部

プロダクト部 第三商品企画担当課長

ひろさわ かつひこ
廣澤 克彦

慶應義塾大学 環境情報学部 教授

やすむら みちあき
安村 通晃

<オブザーバー>

総務省 情報通信政策局 情報通信利用促進課 課長補佐

よこた かずま
横田 一磨

<事務局>

株式会社 三菱総合研究所

<研究会開催の経緯>

第1回

- 日時 平成18年12月8日(金)
- 議事
- (1) 委員紹介
 - (2) 本調査研究の趣旨説明
 - (3) 調査計画の全体概要について
 - (4) 調査計画の検討
 - ・アンケート調査項目(案)について
 - ・フィールド調査計画(案)について
 - (5) 今後のスケジュール

第2回

- 日時 平成19年2月15日(木)
- 議事
- (1) 調査研究計画と目標の確認
 - (2) 調査状況のご報告
 - ・WEBアンケートについて
 - ・携帯電話教室アンケートについて
 - ・フィールド調査について
 - (3) 高齢者の標準ユーザ像の検討
 - (4) 本調査研究成果のまとめ方について
 - (5) その他(今後のスケジュール等)

第3回

- 日時 平成19年3月19日(月)
- 議事
- (1) 第二回検討会 検討結果の確認
 - (2) フィールド調査結果報告
 - (3) 高齢者の標準ユーザ像の検討
 - (4) 高齢者のユーザビリティに配慮したICT利活用環境のあり方について
 - (5) 報告書構成について
 - (6) その他